



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
コード番号 6775 東証第 2 部
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡孝一
(TEL. 03 - 5684 - 2321)

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ平成 30 年 5 月 11 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

通期連結業績予想の修正

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,000	100	90	80	9.16
今回発表予想 (B)	3,400	△98	△100	△110	△12.60
増減額 (B-A)	△600	△198	△190	△190	△21.76
増減率 (%)	△15.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	3,428	△151	△158	△208	△23.86

通期連結業績予想の修正の理由

売上高は、S A 機器事業のデジタルタコグラフの販売の低迷、販売トラブル、電子レジスター及び P O S システムの大口受注が下期出荷見込みとなり減収となりした。また、販売会社の破綻により L E D & E C O 事業・S A 機器事業の双方で減収となり上期迄の売上高は予想を下回り、下期売上高は S A 機器事業の既受注における出荷及び、軽減税率対策補助金制度による需要を引き続き捉え、引き合いを多く頂いている新規事業のカプセル型宿泊設備「まゆ玉」の本格的な増収を見込んでおりますが、上期計画の未達事項の影響と、上期計画の遅れから通期においても計画遅延となり、売上高の通期業績予想は前回発表を下回る見通しです。

利益面においては、売上高減少による粗利金額の減少により上期は減益となりました。下期は黒字化を見込んでおりますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表を下回ると予想されます。

下期は、上期と比較し売上高は増収、利益面は黒字を見込んでおります。また、通期においても、前期実績と比較し売上高は減収見込みですが、利益面においては改善する見通しです。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上